



『秋バテ』にご注意ください！



「夏バテ」は夏に暑い日が続き、自律神経の変調を起こして体調を崩すことで起こります。

「秋バテ」は日々の気温が安定せず、1日の中でも朝夕で大きく差が出てしまう時期に、この寒暖差によって自律神経が変調を起こし、様々な症状を起こすことを言います。「秋バテ」の原因は大きく分けて2つ。1つめは暑さや節電対策のため、冷たいものを摂りすぎて胃腸の機能が低下した「内臓冷えタイプ」。2つめは、冷房の効いた室内で長時間過ごしたための冷えや外気温との温度差のため、疲れやだるさがおこる「冷房冷えタイプ」です。どちらにしても、身体を冷やし過ぎてしまったことで全身の血のめぐりが悪くなり引き起こされます。

『秋バテ』チェックリスト

- | | |
|--------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 食欲がない | <input type="checkbox"/> めまいがある |
| <input type="checkbox"/> 胃がもたれた感じがする | <input type="checkbox"/> 頭がボーっとする、頭が痛い |
| <input type="checkbox"/> 疲れやすい | <input type="checkbox"/> なかなか寝られない |
| <input type="checkbox"/> 体がだるい | <input type="checkbox"/> 朝が起きられない |
| <input type="checkbox"/> 立ちくらみがある | <input type="checkbox"/> 肩こりがひどい |

左の症状が1～2週間以上続く時に
…2個あれば、秋バテかも？
…3～4個で秋バテの可能性が高い
…5個以上あれば秋バテ！
早めの対策が必要です。

野外現場後の部材整備状況

野外現場もほぼ終了しましたが、これ等に使用された各部材は今後も野外・屋内問わず使用される為、資材管理にて清掃・整備を行っています。各部材の中でも機械・電気機器の整備には知識、技術、人員を要します。

今回、技術部では野外後の休止により在庫不足が考えられる為、資材管理とイベント施工課の技術部全体で協力して、整備作業を10月1日から20日までの期間に整備総数約130台を行いました。本作業は知識向上も目的として簡単な故障原因の究明、現場故障時の対応順序等、これを機に現場でも生かせるスキルを勉強しました。以下、期間中に整備を行なった2名の感想です。

新人 岡くん

モーター整備したことにより内部の構造がわかり現場でのモーター不調の原因の予測が出来るようになれたのかなと思いました。

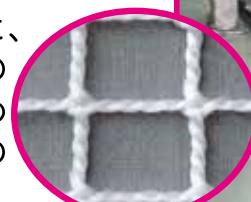
新人 藤岡くん

内部の構造・動作不良の原因・対処法を実際モーターを整備しながら学びました。現場で問題があった場合即座に今回の経験を活かせるよう積極的に取り組むよう心掛けたいと思います。

落下防止ネット設置しています

@京セラドーム 京セラドームからの指摘のもと、他社も含めスタンド席作業時の

落下防止対策を実施する事になっています。効果を高めるため、ネット状のものを新規製作し、10月末からの現場で使用しています。



～安全への取り組み～

#梯子脚部材を新規製作改良

舞台などの台組みをする梯子脚部材を新規製作改良しました。従来の丸パイプ構造から角パイプ構造に変更し、底面にウレタン樹脂性のゴムを貼ることで突起物を失くしました。これによって、設営物での舞台面やアリーナ面の床を傷つける物損事故の撲滅を目指しています。



大阪技術部では安全への取り組みを強化しています。